



## B コマンド

---

この章では、B で始まる Cisco NX-OS マルチプロトコル ラベル スイッチング コマンドについて説明します。

# backoff

ラベル配布プロトコル (LDP) バック オフ メカニズムにセッション確立遅延パラメータを設定するには、**backoff** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**backoff** *initial-backoff max-backoff*

**no backoff**

## 構文の説明

<i>initial-backoff</i>	初期バックオフ値 (秒数)。指定できる範囲は 5 ~ 2147483 です。
<i>max-backoff</i>	最大バックオフ値 (秒数)。指定できる範囲は 5 ~ 2147483 です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

LDP コンフィギュレーション モード

## サポートされるユーザロール

network-admin  
vdc-admin

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、LDP バック オフ メカニズムの遅延パラメータを設定する例を示します。

```
switch(config)# mpls ldp configuration
switch(config-ldp)# backoff 30 240
switch(config-ldp)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>mpls ldp configuration</b>	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

# backup-bw

バックアップ トンネルとして使用される場合に、この **tunnel-te** が帯域幅保護を提供する必要の有無およびその量を指定するには、**backup-bw** コマンドを使用します。システムをデフォルトの状態に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**backup-bw bandwidth**

**no backup-bw**

構文の説明	<i>bandwidth</i>	割り当て可能なバックアップ帯域幅。指定できる範囲は 1 ~ 4294967295 です。
デフォルト	なし	
コマンドモード	TE インターフェイス コンフィギュレーション モード	
サポートされるユーザロール	network-admin vdc-admin	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが追加されました。
使用上のガイドライン	このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。	
例	次に、帯域幅をバックアップ トンネルに関連付ける例を示します。 <pre>switch# <b>configure terminal</b> switch(config)# <b>interface tunnel-te 2</b> switch(config-if-te)# <b>backup-bw 1000</b> switch(config-if-te)#</pre>	
関連コマンド	コマンド	説明
	<b>interface tunnel-te</b>	トラフィック エンジニアリング (TE) インターフェイスを設定します。

# bandwidth (LSP 属性コンフィギュレーション モード)

ラベル スイッチド パス (LSP) の帯域幅を設定するには、**bandwidth** コマンドを使用します。システムをデフォルトの状態に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**bandwidth** *kbps*

**no bandwidth**

構文の説明	<i>kbps</i>	パス オプションに取り分けられた数値 (キロビット/秒)。指定できる範囲は 1 ~ 4294967295 です。
デフォルト	なし	
コマンド モード	LSP 属性コンフィギュレーション モード	
サポートされるユーザロール	network-admin vdc-admin	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

次の条件は、TE インターフェイス コンフィギュレーション モード (**path-option** コマンドライン) または LSP 属性コンフィギュレーション モードで指定可能なトンネル エンジニアリング (TE) コマンドすべてに当てはまります。

- ラベル スイッチド パス (LSP) に設定が指定されている場合、**path-option** コマンドによって直接であれ、**path-option** に LSP 属性リストを割り当てることによってであれ、その特定の **path-option** に優先します。
- LSP に設定が指定されていない場合、LSP/**path-option** は、**affinity**、**auto-bw**、**priority**、**record-route**、**protection/fast-reroute** など **tunnel-te** コンフィギュレーション モードで指定された設定すべてを継承します。

**bandwidth** コマンドは、自動帯域幅メカニズムによって調整される、初期トンネル帯域幅を設定します。

このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、LSP の帯域幅を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# mpls traffic-eng configuration
switch(config-te)# lsp attributes 1
switch(config-lsp-attr)# bandwidth 5000
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>mpls traffic-eng configuration</b>	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) トラフィック エンジニアリング プロトコル (MPLS-TE) を設定します。

# bandwidth (TE インターフェイス コンフィギュレーション モード)

マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) トラフィック エンジニアリング (TE) トンネルの帯域幅を設定するには、**bandwidth** コマンドを使用します。システムをデフォルトの状態に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**bandwidth** *bandwidth*

**no bandwidth**

## 構文の説明

*bandwidth* キロビット/秒単位の帯域幅。指定できる範囲は 1 ~ 4294967295 です。

## デフォルト

0

## コマンド モード

TE インターフェイス コンフィギュレーション モード

## サポートされるユーザロール

network-admin  
vdc-admin

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、MPLS TE トンネルの帯域幅を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface tunnel-te 1
switch(config-if-te)# bandwidth 250
switch(config-if-te)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>interface tunnel-te</b>	トラフィック エンジニアリング (TE) インターフェイスを設定します。

# bfd interval

このインターフェイスの双方向フォワーディング検出（BFD）間隔を設定するには、**bfd interval** コマンドを使用します。システムをデフォルトの状態に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**bfd interval** *milliseconds* **min\_rx** *milliseconds* **multiplier** *interval-multiplier*

**no bfd interval**

構文の説明		
<i>milliseconds</i>	TX 間隔。制御パケットが受信可能な必須レート（ミリ秒）。有効な範囲は 50 ～ 999 ミリ秒です。	
<b>min_rx</b>	最低 RX 間隔を指定します。制御パケットを送信するために必要なレートです。有効な範囲は 50 ～ 999 ミリ秒です。	
<b>multiplier</b>	BFD セッションの検出乗数を指定します。	
<i>interval-multiplier</i>	乗数間隔。有効な範囲は 1 ～ 50 ミリ秒です。	

デフォルト	
間隔（ミリ秒）：50	
min_rx：50	
乗数 interval-multiplier：3	

コマンド モード	
インターフェイス コンフィギュレーション モード	

サポートされるユーザロール	
network-admin vdc-admin	

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	
このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。	

例	
次に、BFD 間隔を設定する例を示します。	
	<pre>switch# configure terminal switch# configure terminal switch(config)# interface ethernet 2/2 switch(config-if)# bfd interval 100 min_rx 100 multiplier 4</pre>

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>mpls ldp configuration</b>	マルチプロトコル ラベル スイッチング（MPLS）ラベル配布プロトコル（LDP）を設定します。

# bfd slow-timer

セッションの低速モード タイマーを設定するには、**bfd slow-timer** コマンドを使用します。システムをデフォルトの状態に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**bfd slow-timer** *milliseconds*

**no bfd slow-timer** *milliseconds*

構文の説明	<i>milliseconds</i>	低速タイマー（ミリ秒）。指定できる範囲は 1000 ～ 30000 ミリ秒です。
-------	---------------------	--

デフォルト	なし
-------	----

コマンド モード	グローバル コンフィギュレーション モード
----------	-----------------------

サポートされるユーザロール	network-admin vdc-admin
---------------	----------------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。
------------	------------------------------------

例	次に、セッションの低速モード タイマーを設定する例を示します。
---	---------------------------------

```
switch# configure terminal
switch(config)# bfd slow-timer 1000
switch(config)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>mpls ldp configuration</b>	マルチプロトコル ラベル スイッチング（MPLS）ラベル配布プロトコル（LDP）を設定します。